

1. e-ビジネスの事例のうち、ロングテールの考え方に基づく販売形態はどれか。(IT パスポート平成 29 年秋期)  
(ア) インターネットの競売サイトに商品を長期間出品し、一番高値で落札した人に販売する。  
(イ) 継続的に自社商品を購入してもらえるよう、実店舗で採寸した顧客のサイズの情報を基に、その顧客の体型に合う商品をインターネットで注文できるようにする。  
(ウ) 実店舗において長期にわたって売上が大きい商品だけを、インターネットで大量に販売する。  
(エ) 販売見込み数がかなり少ない商品を幅広く取扱い、インターネットで販売する。
  
2. USB メモリなどにファイルを保存する代わりに、インターネットを介して、自由に読み書きできるインターネット上のファイルの保存領域はどれか。(IT パスポート平成 29 年春期)  
(ア) Cookie  
(イ) RAID  
(ウ) オンラインストレージ  
(エ) クローラ
  
3. クラウドファンディングの事例として、最も適切なものはどれか。(IT パスポート平成 29 年秋期)  
(ア) インターネット上の仮想的な記憶領域を利用できるサービスを提供した。  
(イ) インターネットなどを通じて、不特定多数の人から広く寄付を集めた。  
(ウ) 曇りや雨が多かったことが原因で発生した損失に対して金銭面での補償を行った。  
(エ) 大量の情報の中から目的に合致した情報を精度高く見つける手法を開発した。
  
4. インターネット上で構築された個人向けのオンライン書店や電子商店街に該当する電子商取引の形態はどれか。(IT パスポート平成 24 年秋期)  
(ア) B to B  
(イ) B to C  
(ウ) C to B  
(エ) C to C
  
5. デジタルデバイドを説明したものはどれか。(基本情報技術者平成 28 年春期)  
(ア) PC や通信などを利用する能力や機会の違いによって、経済的、又は社会的な格差が生じること  
(イ) インターネットなどを活用することによって、住民が直接、政府や自治体の政策に参画できること  
(ウ) 国民の誰もが、地域の格差なく、妥当な料金で平等に利用できる通信及び放送サービスのこと  
(エ) 市民生活のイベント又は企業活動の分野ごとに、すべてのサービスを 1 か所で提供すること